

平成25年10月29日

熊本市中央区長 前渕 啓子 様

熊本市中央区まちづくり懇話会会長

古賀 倫嗣

## 中央区まちづくり事業に関する協議結果の報告

これまでの熊本市中央区まちづくり懇話会における協議の結果について、熊本市中央区まちづくり懇話会設置要綱第3条に基づき下記のとおり報告します。

## 記

## 【協議結果】

1. 中央区まちづくり事業アイデアとして提案された13の事業のうち平成26年度まちづくり推進事業として6事業を推薦

「中央区お宝探検」(提案事業名:中央区探検隊プロジェクトと子どもたちの校区お宝探し)  
「水前寺賑わいづくり支援」(提案事業名:水前寺界限のまつり開催)  
「アクティブシニア増殖プロジェクト」(提案事業名:シルバー活性プロジェクト)  
「中央区ぼうさいキャラバン」  
「障がい児就労体験“ふれジョブ”の拡大支援」  
「校区の町内割入電子地図の作成と活用」

2. 平成25度からの中央区まちづくりの実施事業について2事業を継続要望

「みんなのまちづくり情報発信事業(中央区つながるマガジン)」  
「中央区カルタ、校区カルタの製作事業」

なお、他の事業アイデアについては以下のとおり

「アートなまちづくり」

「井手を生かしたまちづくり」の2事業については、今後の展開についてみんなのまちづくり情報発信事業(中央区つながるマガジン)の中で紹介するとともに引き続き懇話会で審議

「地域で謡曲体験教室」の1事業については、事務局にて引き続き検討

「市庁舎の建て替え」

「清掃ボランティア券の発行」

「命のバトン事業の継続」の3事業については、要件を満たしていないため実施しないこととした。

## 【付帯意見】

まちづくり事業を進めるにあたり、リーダー育成や担い手の研修に力を入れてほしい。

まちづくり事業を進めるにあたり、幅広い区民の参加が出来る仕組みを検討してほしい。

## 平成26年度中央区お宝探検事業（案）

中央区お宝探検隊作業部会

## 1. 目的

大人と子どもが自分の校区を探検することによって、お互いに知らなかった校区のお宝を発見し、共有する。また、探検の成果を活かした他校区のまち歩きに参加し、中央区全体のまちづくり交流のきっかけになることを目指す。

## 2. 26年度の事業概要

年度当初に一新校区のまち歩きに参加し、まちづくりを始め、お宝の発見についてノウハウを学ぶ。その後、カルタ作成に取り組んでいる校区を優先してお宝探検を実施する。カルタ作成に取り組んでいない校区でも、実施を希望される校区はお宝探検から実施し、カルタ作成につなげていく。

## 3. お宝探検のやり方

- ・カルタ作成に取り組んでいる校区

カルタ作成により事前にピックアップしているお宝を探検のポイントとして巡回し、さらに新たなお宝を発見する。

- ・カルタ作成に取り組んでいない校区

校区内を巡回しながらお宝を発見し、カルタの題材として活用する。

探検終了後、発見したお宝を地図に落とし、お宝マップを作成する。

※ 子どもと大人双方の視点からお宝を探し出し、意見交換をしながらマップを作成することが重要

## イメージ図

校区を通して参加を呼びかけ

校区まち歩き体験

校区カルタに取り組んでいる校区、取り組んでいない校区

校区お宝探検・マップ作成

校区お宝探検・マップ作成

校区お宝探検・マップ作成

校区お宝探検・マップ作成

カルタ作成  
まち歩きルート作成・実施

カルタ作成  
まち歩きルート作成・実施

カルタ作成  
まち歩きルート作成・実施

カルタ作成  
まち歩きルート作成・実施

「他校区のまち歩きに参加し、交流につなげる」

お宝探検隊作業部会 部会員名簿

部会長	中央区まちづくり懇話会委員	モウリ ヒデシ 毛利 秀士
副部会長	中央区まちづくり懇話会委員	ミズノ ナオキ 水野 直樹
	熊本地名研究会 熊本歴史学研究会	フクダ ハルオ 福田 晴男
	政策創造教育研究センター 帯山子ども劇場	ミイケ フミコ 三池 史子
	中央区つながるマガジン編集員	フルイェ イト 古家 依都

これまでの開催

- 第1回 平成25年9月19日(木)
- 第2回 平成25年10月7日(月)
- 第3回 平成25年12月10日(火)
- 第4回 平成26年2月10日(月)

## ■目的

水前寺駅・新水前寺駅・水前寺成趣園を含む水前寺界隈の一体感やつながりを生みだすとともに、地域住民の交流を促進し、水前寺界隈のまちの賑わいにつなげることを目的とする。

開催にあたっては地域と行政とが協働し、「中央区『水まち水前寺～春・夏・秋・冬～』」をテーマとした水前寺界隈の活性化の取り組みの一環として位置づける。

## ■主催

水前寺賑わいまつり実行委員会

## ■開催日

平成26年10月12日（日）

（参考）大賑わい市（10月11・12日予定）やみずあかりと連動

## ■開催場所及び

## イベント内容

## ①戸井の外公園

- ・ B級グルメ
- ・ 物品販売
- ・ ステージイベント

幼稚園・保育園、地元小中学校、地元婦人会等有志の出演

水前寺イメージガール作戦（ラジオ番組ボーイズ&ガールズキャンペーンとの連携）

抽選会 など

## ②水前寺江津湖公園水前寺地区（旧水前寺体育館跡地）

- ・ メガネが似合うファミリーコンテスト（タレント出演を交渉中）

## ③熊本城～水前寺歴史ビンゴウォークラリー

## ■予算（市）（注）要求ベース

まつり関連 1,154 千円

目安：ステージ（720×360×H600）、テント（物販用）12張（椅子@4脚）、  
円卓30セット（椅子@4脚）、看板 音響 等

「水まち水前寺～春・夏・秋・冬～」関連グッズ（継続して使用）：のぼり・ステッカー、  
ちらし関連 635 千円

## ■その他 大賑わい市等、市内秋のイベントと連動した広報を展開

## ■実行委員会について

まつり開催に向けた実働体制としての実行委員会を立ち上げる

- ・ 名称 ・ ・ 水前寺賑わいまつり実行委員会（仮称）
- ・ 設置時期 ・ ・ 平成26年3月
- ・ 組織 ・ ・ 委員構成

水前寺賑わいづくり支援作業部会員、イベント関係者

※水前寺活性化プロジェクトへ適宜情報提供を図る。

水前寺賑わいづくり支援作業部会

部会長	中央区まちづくり懇話会副会長	スギミツ 杉光 サダノリ 定則
副部会長	中央区まちづくり懇話会公募委員	ニツタ 新田 トキヤ 時也
	水前寺駅通商栄会	イリエ 入江 サダシ 貞志
	国府繁栄会	カワカミ 川上 セイタ 清太
	水前寺駅通商栄会	フジモト 藤本 レイコ 玲子
	イタリア料理 エッセンス <sup>トマト</sup> 十満十	ホリカワ 堀川 タダシ 忠志
	水前寺観光商栄会 副会長	モリモト 森本 セイキ 誠喜
	水前寺参道商店会 会長	ヤマダ 山田 ユウジ 祐治

これまでの開催

- 第1回 平成25年8月19日（月）
- 第2回 平成25年9月2日（月）
- 第3回 平成25年9月16日（月）
- 第4回 平成25年9月30日（月）
- 第5回 平成25年10月14日（月）
- 第6回 平成25年12月16日（月）
- 第7回 平成26年2月3日（月）
- 第8回 平成26年2月17日（月）

	水前寺賑わいまつり実行委員会 (仮称) (事務局：中央区役所)	水前寺まつり実行委員会 (運営事務局：熊本ル ネッサンス県民運動本 部)	その他水前寺成趣園内 「※」＝出水神社主催 《その他成趣園内事業》	成趣園周辺地域（周辺商 店会・地元自治会等）
2月			※ 着物月間 (出水神社主催、活性化PJ後 援、市が灯りの演出支援)	水前寺活性化PJ会合（毎月第 2水曜日） 蚤の市(毎月第1日曜)
3月	<b>「水前寺賑わいまつり実行委員会(仮称)」立ち上げと『水まち水前寺 ～春夏秋冬～』公表</b>			
4月	【実行委員会】 ステージイベ ント準備  B級グルメ準備、 出店者調整  ウォークマップ 作成  (水前寺成趣園 弁当開発支援)	【区役所】 のぼり・ステッ カーの作成    チラシポスター 作成 広報	水前寺まつり(5日、6日)	※春季例大祭（4月末）
5月				《水前寺をどり（わくわく江 津湖フェスタ事業 民間事業 者主催）》
6月				
7月				夏祭り
8月				※夏祭新能(8月第1土曜)
9月				
10月	<b>水前寺賑わいまつり</b> 会場：戸井の外公園 ○出店 ・B級グルメ ・物品販売 など ○ステージイベント ・水前寺イメージガール作戦（ラジオ番 組ボーイズ&ガールズキャンペーンとの 連携） ・小中学校等、地元有志出演 など  会場：水前寺江津湖公園 ○メガネの似合うファミリーコンテスト  ○熊本城・水前寺歴史ピンゴウォークラ リー			※秋季例大祭 (流鏝馬等)
11月				参道カフェ
12月				
1月			三が日の行事	

いずれはひとつの実行委員会へ  
「(仮称)水まち水前寺実行委員会」

平成26年度アクティブシニア増殖プロジェクト事業について（案）

アクティブシニア増殖プロジェクト作業部会

1 事業の目的

これまで仕事・家事・趣味等で培った知識や技術を活かして、地域に貢献したいという中高年の方々（アクティブシニア）に、活動をはじめための具体的なノウハウや活動の機会を提供し、その活動が自主的に展開できるよう支援することで、シニアの生きがいづくりや地域の活性化につなげる。

2 事業推進の考え方

事業推進にあたっては、参加者自身がやりがいを持って事業に取り組んでもらうとともに、地域のまちづくりを担う人材の発掘、育成、輩出という視点を踏まえた研修や実践を段階的、かつ継続的に進める。

3 26年度の事業概要

(1) 活動テーマ

“「昭和カルチャー」の魅力を発信するイベントを企画・実施しよう”

中高年世代の知識が豊富であり、同世代には幅広く共感を得やすいテーマであるとともに、若い世代にも新鮮な魅力を感じられる。

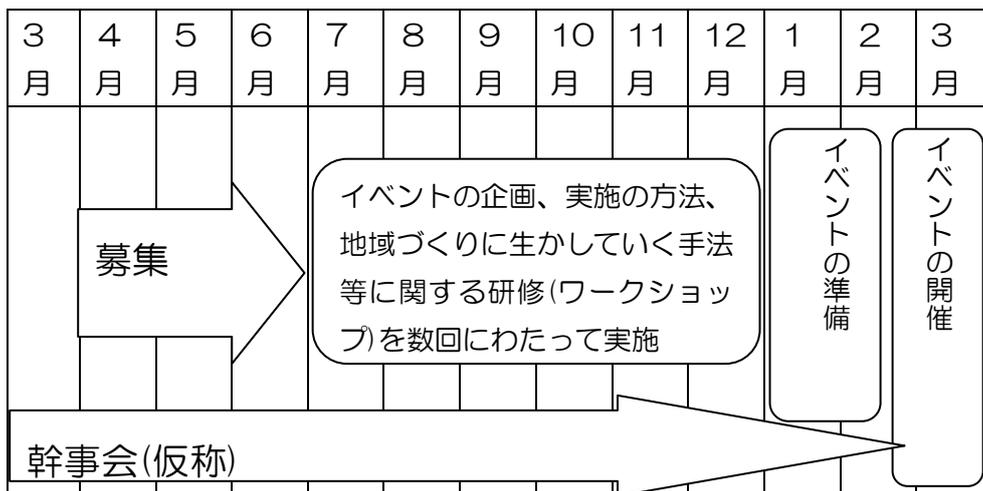
イベント開催は27年3月を予定

(例：国際交流会館にて桜まつりのイベントと同時に開催 等)

(2) 研修内容

- ・ イベント内容のアイデア出し（音楽、ファッション、食べ物、建築・・・）
- ・ 企画とりまとめ
- ・ 実施に必要なノウハウの習得
- ・ 地域づくりに生かしていく手法
- ・ 準備作業、実施
- ・ 次への展開の協議 など

(3) スケジュール



## アクティブシニア増殖プロジェクト名簿

部会長	中央区まちづくり懇話会委員	トリサキ 鳥崎 伊朗 一郎
副部会長	中央区まちづくり懇話会委員	ミスノ 水野 ナオキ 直樹
	熊本シティエフエム	クワノ 桑野 キョウスケ 恭 輔
	熊本市男女共同参画センター はあもにい 副館長	カンマ 加島 ヒロシ 裕士

### これまでの開催

- 第1回 平成25年9月11日（水）
- 第2回 平成25年10月2日（水）
- 第3回 平成25年11月29日（金）
- 第4回 平成25年12月16日（月）
- 第5回 平成26年2月6日（水）

めざす区の姿「新たな出会いと未来創造の都会(まち) ~つながる、中央区。~」

区民、地域、行政が「つながる」ことで、誰もが暮らしやすさを実感し、心豊かで活力ある未来をつくるまちをめざす

予算総額 20,000 千円

種別【A】… 継続事業

【B】… 新規事業[まちづくり懇話会等提案]

【C】… 新規事業[人材育成]

【D】… 新規事業[その他]

(単位:千円)

中央区まちづくりの方向性		No.	種別	事業名	方向性	事業内容	予算(要求)額
方向性① “きらり”とひかる品格ただようまちをつくる	参加意欲を高める情報の発信	1	A・C	みんなのまちづくり情報発信事業	① ② ③ ④	区内の魅力・まちづくり活動・まちづくりに携わる人等を取り上げた情報誌の作成・配布及び区民編集員養成講座を開催する。	4,750
		2	A	区だより	① ② ③ ④	中央区のまちづくり事業や地域の取り組み等を掲載した区だよりを区内各戸に配布する。	2,480
方向性② “わくわく”があふれる活力と賑わいのまちをつくる	住民や地域が活躍の機会が広がる	3	A	中央区・校区カルタ製作事業	① ②	各校区の魅力や自慢を歌いこんだ「校区カルタ」を順次作成し、まちづくりへの関心を高める。H26はカルタの製作及び、絵札・読み札の選定それぞれ7校区を予定。	4,800
		4	B	中央区お宝探検事業	① ②	自分の校区を探検しながら発見したお宝を、持ちよってお宝マップ等を作成するとともに、まち歩きなどに活用し、世代間、校区間の交流を図る。「校区カルタ」とも連携。	150
方向性③ “ほっと”できる安全で安心なまちをつくる	新しい手の参画の促進	5	B・C	アクティブシニア増殖プロジェクト	① ② ③ ④	仕事、家事、趣味等で培ったノウハウを地域に活かしたい中高年世代を対象に実践的な研修を行い、「アクティブシニア」として育成し、地域の活性化につなげる。	750
		6	A	地域コミュニティづくり支援補助金	① ② ③ ④	魅力あるまちづくりを推進するため、校区自治協議会や町内自治会等が主体的かつ継続的に行う、様々な分野の地域課題の解決や地域コミュニティの活性化に向けた取り組みを財政的に支援する。	1,030
方向性④ “いきいき”と暮らせる健やかなまちをつくる	住民主体のまちづくりの支援	7	B	校区の町内割入電子地図の作成と活用	③ ④	各校区の町内が線引きされた電子地図を作成し、各校区で出様々なまちづくり活動(子育て・高齢者見守り・防犯等)の用途に応じて加工し活用してもらう。	2,486
		8	B	水前寺賑わいづくり支援事業	②	「水まち水前寺～春・夏・秋・冬～」をテーマに、水前寺界隈の活性化に向けた取り組みを支援する。	1,809
まちづくりビジョンの推進体制	新たなテーマにおける協働の働きかけ	9	B	障がい児就労体験“ふれジョブ”の拡大支援	③ ④	障がいのある子供たちのお仕事体験を地域で受け入れ、支援する取り組みを広げるための広報等を行う。	245
		10	B	中央区ぼうさいキャラバン	③	PTA役員等に防災教育プログラムの研修を実施するとともに、単位PTAごとに「防災イベント」を巡回形式で開催する。	1,000
参画と協働を支えるしくみづくり		11	A	中央区まちづくり懇話会(アイデア提案制度及び作業部会の活用)		区の特性を生かしたまちづくりの推進に関して、「まちづくり事業アイデア提案制度」により提案された内容等を協議する。また、作業部会において個別の事業案づくりを行う。	500